

牧会 / 社会 / 神学

第5回日本伝道会議の論点⑨

プロジェクト「社会・平和」は、2000年の沖縄宣言「和解の福音」を受け止め、現在の日本社会と教会が抱えている問題を把握し、キリスト者としての社会的責任を考えることをテーマとしていきます。

過去から学ぶ

1日目は、史料管理学(アーカイブズ学)が専門で、北海道で靖国神社問題にも取り組んでこられた、鈴江英一先生(日本基督教団札幌元町教会員)を講師としてお招きします。

社会・平和 北海道の歴史から 教会の課題への気づきを

「歴史観」という言葉があるように、その人の問題意識や志向によって、同じ出来事の評価も異なったものになります。どちらかと言えば、自分に都合の良い事柄の方へと心は傾くものです。できるだけ公正であるところの謙虚さの中で「気づき」が与えられ、自

らを含めることになりま。丹念な史料収集・研究・分析をしてこられた鈴江先生の発題を通じて、この「気づき」が与えられることを願っています。

さて1日目の内容は、靖国神社問題を軸としま。けれどもキリスト教界にとつて靖国神社問題は、政教分離原則や歴史認識の問題であると共に、その死生観や宗教性など、福音理解にも影響する教会の本質にかかわるものです。それだけ重要でありながら、その問題意識すら抱かせないような力をこの問題はおもっています。それは、神社参拝や戦争協力といった戦時下の教会の歩みに顕著に現れました。同じ問題を現在の日本社会も教会も抱えているという「気づき」が、北海道の諸教会の取り組みに学ぶことを通じて与えられ、現在の教会が取り組むべき課題について考える機会としたいと思っ

ています。靖国神社問題とは、一般的には戦没者の顕彰、戦犯の合祀など戦争理解や歴史認識の問題、また政治家の参拝など政教分離原則の問題を指します。1969年のいわゆる靖国神社法案を契機として、キリスト教界を含む諸方面で反対運動が起きました。しかしそれ

将来を見据えて 平和の実現に提言

す。靖国神社問題とは、一般的には戦没者の顕彰、戦犯の合祀など戦争理解や歴史認識の問題、また政治家の参拝など政教分離原則の問題を指します。1969年のいわゆる靖国神社法案を契機として、キリスト教界を含む諸方面で反対運動が起きました。しかしそれ

講師によって、21世紀に平和を創ることに提言をして頂きます。教会が語る平和の理念は、キリストと共に、キリストのうちにあって、構築されるべきでしょう。そのために「平和をつくる者」は幸いです。という主のみ言葉に基づいて、現在と将来にわたる主の平和の深まりと広がりを目指す。教会は、国境を越えたエキメニカルの組織でもありません。その教会には、平和の理念の発信と、人類の生存の課題である環境の保全、正義をともなう平和、弱い立場の人々の人権を守る働きが求められています。こうした教会の課題について、共に考える時としたいと思っ

た。また、この日の午後には分科会を開き、参加者による意見交換の時もあちます。北海道で、共に神のみ旨を選び取る時とさせていただきます。願っています。

種々の課題について「(上中) 栄二「社会・平和」プロジェクトメンバー。日本ホーリネス教団 鶴沼教会牧師)も、正しい歴史認識による現実認識をもつことをはじめとして、例えば安全保障の問題であれば、

100言語で手書き聖書を作成計画 イスラエル外務省支援 【CCCII東京】宣教師団「エルサレム国際キリスト教大使館」(ICCE J)が伝えるところでは、イスラエル外務省が「世界の人々が聖書を手書きする」計画を支援することになった。 100の異なる言語に

る聖書100冊を手書きで作成するという計画はイスラエルのNGO「聖書の谷協会」が主導して進められている。すでに中国語(北京語と台湾語)、英語、タミル語、フィンランド語が完成、ヘブル語が進行中だが、それらはエルサレムの「聖書の地博物館」に展示される。100冊全部を5年以内に完成させたいという。

教会が教会であるために



57 「和解の時代②」



向谷地 生良 (むかいやちいくよし) 北海道医療大学看護福祉学部教授、浦河日赤病院ソーシャルワーカー、「へてるの家」理事と三足のワラジを履いて活躍中

前回は、「和解」というテーマで躁うつ病を体験された方の投稿を紹介させていただきました。投稿をいただいた方が示してくださいました病からの回復とは、まさしく「和解」という誰しもが抱えている人の深いテーマ。自分との和解、他者との和解、人生との和解、そして、神との和解。ともつながる大切な内容を含んでいます。その経験は、へてるの歩みとも重なるものです。そして、私たちは「病氣も回復を求めている」という理解から、病氣によって人生を狂わされたというところへは、病氣のサインは、人を回復・和解に向かわせる大切な身体メッセージと受け止めていくことも紹介しました。 もちろん、最近では統合失調症や躁うつ病などの精神障害も、遺伝子や脳の中に原因を求めようとする脳科学が急速に進み、「脳アーム」を生み出した本も売れているようです。しかし、たとえば恋愛感情の脳内のメカニズムがわかっただとしても「恋愛」が単なる脳内物質の影響と考えられないように、精神の病も、時代や社会環境とともに、その方の人生観も含めた多様な要因が影響し合い、起きてくると考えられるようになりました。しかも、「病氣が治ること」と回復は単純にイコールではない

弱さが輝き始めたら

「弱さが輝き始めたら」は「き女好きだった父さんも、酒好きだった母さんも、彼を疎んじた同級生もすっかりとつながっている。彼の人生に連なるあらゆる弱さが意味を持ち、ことさらに用いられようとしている。誰が欠けてもならない。必要のない人はいない。弱ければ弱いほどその絆は意味を持つ…」

残暑お見舞い申し上げます

Advertisement for Tokyo Christian Education Center (東京キリスト教学園) and Tokyo Christian University (東京基督教大学). Includes contact information, staff list, and a message about summer greetings.